

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会
 発行者 多田 丈夫

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 日公連鈴木ビル5F
 電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~totaikou/>

北の地方から紅葉のたよりが聞かれる季節になりました。それにしても、今夏は異常気象に悩まされ続けてばかりだった思いが強い。関東地方でも三〇度以上の猛暑日が続き、熱中症が毎日のトップニュースになったほどです。西日本を襲った集中豪雨、本土に上陸した大型台風、更には、最大震度7を記録した北海道地震は多くの人命を奪い



おもてなしの心で
 —東京らしさを発揮—
 東京都退職校長会 副会長 苗村 崇伶

各地に甚大な被害をもたらしました。亡くなった方々のご冥福を祈り、一日も早い復興を願っています。自然の驚異に畏敬の念を改めて抱きました。

十月十八日、十九日の二日間 関東甲信越地区退職校長会連絡協議会「東京大会」が御茶ノ水の「東京ガーデンパレス」で開催されました。

この大会は退職校長会の活動の充実と発展のため、情報の交

換及び親睦活動を行うものであり、関東甲信越地区の一都九県の退職校長会をもつて組織した「関東甲信越地区退職校長会連絡協議会」と称します。一都九県とは、新潟、長野、山梨、群馬、栃木、埼玉、千葉、茨城、神奈川、東京で、開催は持ち回りで行います。本年度は東京がその任に当たったのです。

【おもてなしの心を持つて】

をスローガンに各県の会長・理事の皆さんが気持ちよく参加できるよう、最大限のおもてなしで役員以下、全員で努めました。

○第一日（十月十八日）

集合（十一時）JR御茶ノ水駅から会場までの道案内、笑顔でホテル玄関での出迎えを行いました。開会式、研究協議、写真撮影と進み、懇親会で一日目が終了。

主な記事

- P1 巻頭言 副会長挨拶
- P2 五団体との教育懇談会 —報告—
- P3 「採用前実践的指導力養成講座」事業の終了報告『第2回会員研修会』のご案内
- P4 第一回「人材バンク」登録者対象研修会
- P5 支部だより
- P7 高齢者叙勲受章会員、湯島の動静
- P8 物故者、会報部からのお知らせ、編集後記

○第二日（十月十九日）
 十時《基調講演》出張吉訓氏（前東京都教育庁教育監）による「東京五輪を契機として、学校教育に期待すること」の演題で講演が行われました。
 《基調講演》後、昼食会、閉会式と続き、次年度の開催地は神奈川県との発表があつて、解散となりました。
 「東京大会」の詳細については、次号（203号）でお知らせします。

五団体との教育懇談会―報告―

去る8月25日（土）、恒例の五団体との教育懇談会が本会事務局のある退公連会館（鈴木日退連共同ビル）の三階会議室を会場に13・30から16・00にわたり開催された。参加者は五団体の代表と本会の役員一同。

会は宇津木副会長の司会で進められ、記念撮影、自己紹介に続き、五団体代表により当面する校種別の教育課題のプレゼンテーションが行われた。

休憩を挟んで本会の主たる事業説明では、会長、担当副会長、各部長から説明が行われた。

多田会長からの説明では規約改正の趣旨説明に重点が置かれた。

開会時の挨拶で、『都の教育に貢献するため退職校長として何ができるのか、を考えるため五団体の皆さんから学びたい』『また、退職校長の全員加入を期して65年間の規約を改正した意義の理解を得るための最初の会です』と述べた弁に沿って具

体的に条文にも触れながら説明を進めた。現職の代表各位に改正の意義を理解していただきたいという熱い思いが伝わる説明であった。

その後活発な質疑応答、情報交換が行われた。

次に各団体の代表によるプレゼンテーションの要旨を記す。

□幼稚園・こども園

東京都国公立幼稚園・こども園

園長会 会長 桶田 ゆかり

○現状と課題――・園児数減の中での特別な支援を要する幼児が10.3%と増加。・若手教員の増加（30歳以下が64.2%）、教員の質の向上のため若手教員と管理職候補の育成が課題。

○園長会の取組――・新幼稚園

教育要領等の完全実施を受け、経営研修会「幼小の教育の接続に向けた園長の役割」、課題研究「保育者とのつながり、質の高い幼児教育を推進する園長の役割」等を行う。・障害児、外国人、虐待等の人権課題の解決

に向けた研修会の実施。・第15回子育て研修会（都PTA共催）を品川区で開催、等。

□小学校

東京都公立小学校長会

副会長 喜名 朝博

○現状――・若手教員等育成が必要な人材の増加により学校力が低下。他の教員も育成疲れの状況。・ALT等の配置格差、ICTの教育環境格差等自治体間格差が拡大。保護者の経済格差も子どもの生活や学習に影響。

○課題――・全国的に採用選考倍率が低下。教育の質の低下を食い止めるためにも定数改善が必要。・先行実施の道徳科への対応、移行措置期間としての外国語科や外国語活動への対応。・理念の改訂であり、カリキュラム・マネジメント、主体的、対話的で深い学びでの授業改善を推進して行かねばならない。・様々な課題がある中、学校教育の在り方について議論が必要。

□中学校

東京都中学校長会

会長 小澤 雅人

○現状と課題――・新教育課程の実施に向けた課題として理念の理解と指導計画の立案、特別の教科道徳の実施に向けた準備がある。また、特別支援教室の実施に向けた準備と校内指導体制の準備がある。・2020年問題としての東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた指導と準備、外国人来訪者の増加に伴う修学旅行のあり方と実施内容の検討、中体連主催大会の開催時期のあり方と部活動の指導及びあり方に関する問題。・教職員の働き方改革の実施に向け在校時間の削減に繋がる勤務環境整備と指導内容及び学校のあり方の検討がある。

□高等学校

東京都公立高等学校長協会

広報監事 吉田 寿美

○現状と課題――・高校には様々なタイプの高校がある。普通科高校、専門高校、定時制課程・通信制課程、中高一貫教育校、総合学科高校等である。各校の校長はお互い学校の実態に

合わせて連携し合って教育改革への対応を行っている。その対応事項の主なものをあげる。

①平成30年3月告示の高等学校学習指導要領——34年度より年次進行による新教育課程の実施
②高大接続改革。③34年成人年齢引き下げ・18歳選挙権に伴う諸課題。④スポーツ庁ガイドラインと部活動のあり方。⑤働き方改革——タイムカード導入や学校閉庁日実施等。⑥就学支援事業——奨学金等。⑦入学者選抜

□特別支援学校

東京都立特別支援学校校長会

副会長 伏見 明

現在は東京都教育委員会が平成29年2月に策定した「東京都特別支援教育推進計画（第二期）」に基づく諸事業に取り組んでいる。具体的には発達障害のある児童、生徒に対する小・中学校への特別支援教室の導入や都立高校生向けの教育課程外での特別な指導・支援の実施などといった各事業の推進である。また、本年10月に「東京都障



害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」が施行される。申し出のあった障害のある児童・生徒に「合理的な配慮」の提供が義務付けられ、その内容については、関係者間の「建設的対話」が重要となる。

以上の懇談会閉会後は会場を事務局の部屋に移して懇親会が和やかに持たれ、散会した。

（梅津通郎）

「採用前実践的指導力養成講座」事業の終了報告

東京都退職校長会会長

採用前研修事業受託委員会委員長 多田 丈夫

去る9月5日都教委より、「5年間にわたって東京都退職校長会と委託契約を結び推進してきた『採用前実践的指導力養成講座』は、制度上の課題があつて今後、継続することは難しいとの判断から、平成29年度をもって終了する」との通告がありました。この事業の受託は、「採用試験合格者が新地に赴任したにも関わらず、様々な要因から一年を待たず100名近い者が学校を辞めていく」という都の深刻な事態の公表がきっかけでした。終了は誠に残念ですが、この5年間を通じて、本会の綱領が謳う「国際都市東京の教育に寄与する」ことが具体的に実現できたことは組織の誇りでもありました。

終わりに、事業の推進役となった各校種の代表からなる「採用前研修受託委員会」の先生方並びに、講師として高い見識と経験の豊かさを存分に発揮された多くの会員の皆様に心から感謝を申し上げ、報告いたします。ありがとうございました。

平成30年度『第2回 会員研修会』のご案内

東京都退職校長会 生涯学習部

平成30年度第2回『会員研修会』を下記の要項で実施いたします。

多数のご参加をお待ちしています。

- ◎期 日 平成30年11月22日（木）
- ◎時 間 受付 午後1時00分～1時30分
研修会 午後1時30分～4時20分
- ◎会 場 鈴木日退連共同ビル3F
（東京都退職校長会のビル）
文京区湯島4-12-3
千代田線湯島下車 徒歩6分

「生き生き人生元気の出る集い」

一苔だま作りと指の体操で元気になろうー

- 研修① 苔だまつくり（材料費500円）
13:40～15:10
講師 園芸クラブ 稲川君江様
 - 研修② 指の体操と認知症予防
15:20～16:20
講師 北多摩西部支部 鶴巻 武様
- （申し込みは、事前に支部長を通してください。）

平成三〇年度

第一回「人材バンク」登録者対象研修会

Ⅱ都受託事業「人材バンク」運営特別委員会報告Ⅱ

第一回の「人材バンク登録者対象研修会」は、去る七月二十九日（日）都研修センターで開催された。

1. 研修会の趣旨

「人材バンク」は、「大学生、教育退職者、スポーツ指導者など様々な都民の協力を得て、学習活動や部活動等の学校教育活動をサポートし、学校支援の一助が目的の事業」（都教育庁人事部作成資料より）である。この事業の普及・広報活動を都退職校長会が毎年委託を受け、今回で八年目となる。その委託業務の一つに本研修会がある。登録者が学校でスムーズにボランティア活動が行えるよう、学校教育に關して必要な知識や児童生徒と接する際の心得等を情報提供する研修である。

2. 研修会の内容等について

・日時…七月二十九日（日）
・会場…都研修センター
・受講者（登録者）…二十七名

・研修会の流れ…（受付10時、講義Ⅰ10時30分、講義Ⅱ10時45分、グループ別演習11時45分）

3. 講義Ⅰ・講義Ⅱについて

・全体会形式：主催者・都教育庁人事部長挨拶並びに人材バンク事業の説明。続いて委託された都退職校長会の会員が①学校教育とボランティア活動（多田丈夫会長）②発達段階に応じた児童生徒との接し方：四校種別（小：桑原利夫、中：宇津木順一、高・特：多田丈夫）を講義。
・その際、都退職校長会作成の「研修ノート」（講義内容のポイント記載）を受講者に配布し、講義内容を研修ノートで確認しながら、受講できるように配慮した。

4. グループ別演習

研修会後半は、受講者参加型の演習タイムを設定した。学習①、学習②、部活動①、学習・

部活の両方①の4グループに希望制で分かれた。

各グループに運営委のメンバーが分担して入り、グループリーダー（進行把握・記録）、コーディネーター（司会進行・助言）を務めた。

演習の流れは、①受講者の自己紹介②講義を聞いた感想・意見等③コーディネーターの教育情報の提供や体験談等を交えた助言④まとめ（研修報告の記入とアンケートへの回答）である。

※各グループリーダー・コーディネーターは学習①（伊地敦子・大井芳文）学習②（林忠義・桑原利夫）部活動①（河合美津江・三辻陽夫）両方①



（和田弘・阿久津州美男）

※所要時間は五十分。受講者の均等な発言、関心事に配慮し、特に講義を聴いた感想、意見交換等の充実を重点とした。

5. 受講者のアンケートから

・アンケート結果では、研修会参加が非常に役立ったとの回答が98.2%を得た。

・回答の理由としては「発達段階に応じた子どもとの関わり方のヒントが得られた」「四校種の子どもの接し方が伺えた」「教職を経験された方のお話は説得力があり、大変参考になった」「各校種の注意事項を聞くことができ、今後の活動に役立つと思った」「教育改革のお話が聞けてよかった」等々、本研修会の企画・内容を受講者が有意義と捉えてくれたことが分かった。
・今回の研修内容には「教育課題とその対応（例）体罰・いじめ等」「ボランティア体験談」の要望が多かった。受講者の声を反映する企画・運営に努めたいと思う。

（文責 桑原利夫）

支部だより

充実した生きがいを求めて

千代田・中央支部副支部長

瀬川 徹

恒例の本支部の定期総会・懇親会を平成三十年五月、多くの来賓をお招きし、開催しました。千代田区教育長様はじめ、都退職校長会、都退職公務員連盟、連携関係にある文京・新宿支部の現・前支部長様等がご出席くださいました。第二部の懇談は、大変有意義な情報交換の場となりました。

本支部は会員が少ないのですが、今年も新会員の加入があり、嬉しく思っています。又、本支部は全員が充実した生きがいのある生活を送るべく、支部会では、お互いに自由な雰囲気の中で、和やかな意見交換をしているところです。

先日「支部だより」第15号を発行したところですが、都の情報・連絡事項も含め、すぐ支部の会議内容を、仕事等で当日欠席の会員にも周知すべく、文書にまとめ、ファックスを送つ

ています。

本支部は又、少人数ではありますが、「人材バンク」「採用前実践的指導力養成講座」「会員研修会」等に可能な限り参加することに力点をおいています。昨年度は、本支部として、中央区内の「佃島の歴史」を中心に発表をさせていただき感謝しているところです。

又、会員の絆、団結力を深めるべく、ここ十年来、歴史に重点をおいたウォーキング（散策）を年に三〜四回実施しています。

故・齋藤盛前支部長が企画された都立六公園めぐりも、文京・新宿支部の多くの方々の参加もいただき昨年完全制覇したところです。今後は教育現場への支援も視野に入れていきます。



定期総会・懇親会場にて

点と線を支える支部活動

世田谷支部長 小林 由衛

会員相互の親睦を図り、研修を充実させて、教育振興に寄与することを本支部の目的に、百八十名余の会員の支援のもと、四十名の役員・理事が会務・事業の推進に当たり成果を挙げている。

①体験発表会

日越友好子ども文化交流活動（鈴木眞子氏）、国蝶オオムラサキを増す活動（碓井恆夫氏）の報告は役員理事の自主研鑽として理事の活動体験から学ぶ支部の独特の研修会である。

②講演会

西洋絵画入門（山田五郎氏）世界の子供たちを語る（関口照生氏）は、地域や専門分野で活躍される講師を招き、生涯学習の良い機会となってきた。昨年は、近隣支部にもご案内した。

③春・秋の一日見学研修

春は「プーシキン美術館展」「エルミタージュ美術館展」な

どの見学、秋は「大宮盆栽村」「龍雲寺で座禅」など体験を主とした研修を通し、会員の親睦を図る大きな効果があつた。

④小中学校長会との教育懇談会

毎年十月、現職の校長会長を講師に、世田谷九年教育、現場の様々な課題などをお聞きし、教育支援に繋げている。

⑤年二回の支部会報の発行

八月に第八七号が発行され、支部活動の情報、会員の一言や動静、区内の学校の研究等、幅広い内容で会員相互の大切な交流の機会となってきた。

⑥年三回の懇親会

総会、歓送迎会、新年会と会員、役員・理事の親睦、交流を図る大切な場となっている。

会員数の減少、予算額の縮小や、会員のニーズにいかに対応していくか、多くの課題を抱えている現実がある。しかし、それぞれの事業に当たる各部理事の献身的な関わりが、会員との絆を繋ぐ役割を果たしている。



会員に支えられて十七年

千葉県支部長 藤木 三三五

千葉県支部から四支部に分離独立して、協力を惜しまない会員に支えられ十七年が過ぎる。狙いは広範囲に渡る地域を会員が身近に感じられる会に改めたいという願いであった。

従って親睦・互助・生涯学習を中心に、多くはない機会をどれだけ満足して頂ける活動にできるか。会員は家庭があり、仕事を抱え、社会人としての役割もある中で参加される。それだけに参加した活動が少しでも満足出来るものでありたい。これは企画・運営に携わる役員一同の願いでもある。



第12回 フォトクラブ千葉西写真展

現在の主な活動は、運営の中心となる総会・新年会と続く懇親会、年二回の生涯学習【見学・観光、遊山】及び、同好の集まりであるクラブ活動【写真クラブ・囲碁クラブ・カラオケクラブ・俳句クラブ】である。なお、クラブ活動で千葉中部支部と北部支部の方々のご協力を仰いでいる。会員数が減少している現状の中で大変有り難い。

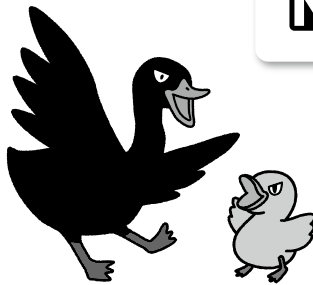
また、支部喫緊の課題は他支部も同様であろうが、会員の急激な減少と高齢化である。本部の規約改正が、都外の支部にどのように働くか注視しているところである。

別掲の写真は見学会と写真クラブの展覧会である。

新登場

No.1

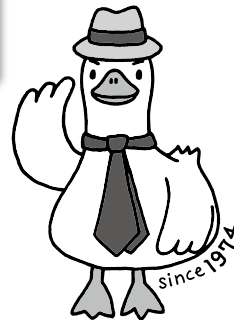
アフラックは
がん保険・医療保険
契約件数 No.1
平成28年版「インシュアランス生命保険統計号」



がんを含む
病気や
ケガの
備えに

ちゃんと応える
医療保険
EVER

●契約年齢●
0歳～
満85歳
まで



心配な
「がん」の
備えに

新 生きるための
がん保険 Days

■募集代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）

◎商品およびサービスの詳細は「契約概要」等をご覧ください。

三泉トラスト保険サービス株式会社

☎ 0120-357-212

FAX 03-3233-6754

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

（引受保険会社）

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック

東京第一法人営業部

〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル19階

Tel.03-3344-1446 Fax.03-3348-0565

AF広宣課-2017-0005-1705004 1月16日

26	25	24	23	19	18	17	12	11	10	4	3	25	22	21	20	19
会報部会	関プロ準備委員会	会計部会	振替休日	秋分の日	会報部会	人材バンク委員会	生涯学習部会	総務部会	敬老の日	企画調整部会	顧問・参与会	関プロ拡大実行委員会	企画委員会⑥	関プロ実行委員会	福利厚生部会	正副会長会④
会報部会	関プロ準備委員会	会計部会	振替休日	秋分の日	会報部会	人材バンク委員会	生涯学習部会	総務部会	敬老の日	企画調整部会	顧問・参与会	関プロ拡大実行委員会	企画委員会⑥	関プロ実行委員会	福利厚生部会	正副会長会④
会報部会	関プロ準備委員会	会計部会	振替休日	秋分の日	会報部会	人材バンク委員会	生涯学習部会	総務部会	敬老の日	企画調整部会	顧問・参与会	関プロ拡大実行委員会	企画委員会⑥	関プロ実行委員会	福利厚生部会	正副会長会④

湯島の動静

高齢者叙勲受章会員
瑞宝双光章

栄えのご受章お祝い申し上げます。

計3名（敬称略）

（平成30年9月25日までに本部に届けがあった方々）

矢野 桂治（世田谷）

川田 進（埼玉）

柳瀬 善晴（神奈川）



28	23	22	20	13	7	6	5	3	28	23	22	18	16	10	9	8	3	2
企画委員会⑧	勤労感謝の日	第2回会員研修会	会報部会	企画調整部会	会報部会	企画委員会⑦	福利厚生部会	生涯学習部会	文化の日	支部長会②	関プロ委員会	会報部会	総務部会	生涯学習部会	企画調整部会	正副会長会⑤	会報部会	会報部会
企画委員会⑧	勤労感謝の日	第2回会員研修会	会報部会	企画調整部会	会報部会	企画委員会⑦	福利厚生部会	生涯学習部会	文化の日	支部長会②	関プロ委員会	会報部会	総務部会	生涯学習部会	企画調整部会	正副会長会⑤	会報部会	会報部会
企画委員会⑧	勤労感謝の日	第2回会員研修会	会報部会	企画調整部会	会報部会	企画委員会⑦	福利厚生部会	生涯学習部会	文化の日	支部長会②	関プロ委員会	会報部会	総務部会	生涯学習部会	企画調整部会	正副会長会⑤	会報部会	会報部会

東京都退職校長会会員の皆様へ

昭和51年4月に東京都退職校長会の会員の皆様の福利厚生の一環として団体契約を頂戴しております。会員ご本人様はもとより、ご家族、ご親戚の方々もご利用いただけます。

事前相談

どんなに些細と思われることでも
お気軽に

ご葬儀

寝台自動車、火葬場
式場、供花・枕花の
お手配

ご法事、
葬儀後の
お手続き

家族葬から音楽葬など、あらゆるご葬儀を承っております。
年中無休・24時間体制、どのようなことでもご相談ください。

フリーダイヤル ☎ 0120-849544 をご利用ください。



経済産業大臣許可（五）第3066号

株式会社

東京都民互助会

東京都民互助会

検索

<http://www.tomin-gojo.co.jp>

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8 TEL.03-3396-7231 FAX.03-3395-8874

(大瀧吉夫)